

他自治体における男女別定員制についての ヒアリング調査結果

【調査対象】

中等教育学校を設置している近隣自治体（関東圏）の教育委員会

- ・茨城県教育委員会（並木中等教育学校、古河中等教育学校、勝田中等教育学校）
- ・群馬県教育委員会（中央中等教育学校）
- ・伊勢崎市教育委員会（四ツ葉学園中等教育学校）
- ・千葉市教育委員会（稲毛国際中等教育学校）
- ・神奈川県教育委員会（平塚中等教育学校、相模原中等教育学校）

【調査の種類】（3種類）

- ①男女合同定員型（千葉市教育委員会）
- ②男女別定員から男女合同定員への移行型（神奈川県教育委員会）
- ③男女別定員型（茨城県、群馬県、伊勢崎市の各教育委員会）

【調査期間】

令和5年4月11日～4月19日

【調査方法】

調査対象の教育委員会に電話で調査を依頼。その後、メールでヒアリングシートを配付、回収（1件は電話での口頭回答）を行った。

【その他】

掲載の都合上、文意を損なわない範囲で要約や表現の変更を行っている場合がある。

①男女合同定員制の中等教育学校

1. 過去2年間における募集定員、応募者数、合格者数

■千葉市教育委員会（稲毛国際中等教育学校／令和4年度開校）

	募集定員	志願者数			合格者数			合格者の男女比（％）		
	男女合同計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
令和4年度	160	※志願の段階で男女数は集約しない		858	64	96	160	40.0	60.0	100.0
令和5年度	160			851	61	99	160	38.1	61.9	100.0

2. 男女別の定員数を設けていない理由

■千葉市教育委員会

性別により対応に差が出ないように、公平性を重視したため。
 県立高校の入試においては、男女別ではなく男女合同定員を採用しているため。

3. 男女別の定員数を設けていないことによるメリットとデメリット

■千葉市教育委員会

メリット	公平性のある選抜ができる
デメリット	他の市立小・中・高等学校においては、以前より男女別の定員はなく運営されており、大きな問題はないと認識している。

②男女別定員制から男女合同定員制に移行した中等教育学校

1. 過去5年間における募集定員、応募者数、合格者数

■神奈川県教育委員会（平塚中等教育学校／平成21年度開校）

	募集定員			志願者数			志願者の男女比（％）			合格者数		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
平成31年度	80	80	160	396	438	834	47.5	52.5	100.0	80	80	160
令和2年度	80	80	160	409	441	850	48.1	51.9	100.0	80	80	160
令和3年度	80	80	160	433	477	910	47.6	52.4	100.0	80	80	160
令和4年度	160		160	772		772	非公表			非公表		160
令和5年度	160		160	737		737	非公表			非公表		160

■神奈川県教育委員会（相模原中等教育学校／平成21年度開校）

	募集定員			志願者数			志願者の男女比（％）			合格者数		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
平成31年度	80	80	160	587	688	1,275	46	54	100	80	80	160
令和2年度	80	80	160	550	595	1,145	48	52	100	80	80	160
令和3年度	80	80	160	546	576	1,122	49	51	100	80	80	160
令和4年度	160		160	1,062		1,062	非公表			非公表		160
令和5年度	160		160	982		982	非公表			非公表		160

2. 令和3年度まで、男女別定員を設けないと仮定した場合の男女合格者数

■神奈川県教育委員会

非公表のため回答不可

3. 男女合同定員制に移行した理由

■神奈川県教育委員会

神奈川県教育委員会は、ジェンダーに対する社会意識の変化に合わせ、平成31年度の公立高等学校入学者選抜において、入学願書の性別欄の記載がなくても受付けることとし、令和2年度から、公立高等学校入学者選抜及び中等教育学校入学者決定検査における入学願書についても性別記載欄を削除している。これまでの入学者選抜における性的少数者への配慮と男女平等の取組の完成形として、入学時に男女を二分することなく、人権尊重や男女平等意識の育成、性的役割分担意識の解消につなげるため男女別募集を廃止した。

4. 男女合同定員制に移行したことによるメリットとデメリット

■神奈川県教育委員会

メリット	人権尊重や男女平等意識の育成、性的役割分担意識の解消に寄与できる。
デメリット	特になし

③男女別定員制の中等教育学校

1. 過去5年間における募集定員、応募者数、合格者数

■茨城県教育委員会（並木中等教育学校／平成20年度開校）

	募集定員			志願者数			志願者の男女比 (%)			合格者数		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
平成31年度	80	80	160	339	338	677	50.1	49.9	100.0	80	80	160
令和2年度	80	80	160	290	326	616	47.1	52.9	100.0	80	80	160
令和3年度	80	80	160	320	301	621	51.5	48.5	100.0	80	80	160
令和4年度	80	80	160	280	321	601	46.6	53.4	100.0	80	80	160
令和5年度	80	80	160	268	257	525	51.0	49.0	100.0	80	80	160

■茨城県教育委員会（古河中等教育学校／平成25年度開校）

	募集定員			志願者数			志願者の男女比 (%)			合格者数		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
平成31年度	60	60	120	127	141	268	47.4	52.6	100.0	60	60	120
令和2年度	60	60	120	134	152	286	46.9	53.1	100.0	60	60	120
令和3年度	60	60	120	110	142	252	43.7	56.3	100.0	60	60	120
令和4年度	60	60	120	107	139	246	43.5	56.5	100.0	60	60	120
令和5年度	60	60	120	115	106	221	52.0	48.0	100.0	60	60	120

■茨城県教育委員会（勝田中等教育学校／令和3年度開校）

	募集定員			志願者数			志願者の男女比 (%)			合格者数		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
令和3年度	60	60	120	80	101	181	44.2	55.8	100.0	60	60	120
令和4年度	60	60	120	106	110	216	49.1	50.9	100.0	60	60	120
令和5年度	60	60	120	79	98	177	44.6	55.4	100.0	60	60	120

■群馬県教育委員会（中央中等教育学校／平成15年度開校）

	募集定員			志願者数			志願者の男女比 (%)			合格者数		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
平成31年度	60	60	120	212	261	473	44.8	55.2	100.0	64	64	128
令和2年度	60	60	120	225	252	477	47.2	52.8	100.0	64	64	128
令和3年度	60	60	120	183	206	389	47.0	53.0	100.0	64	64	128
令和4年度	60	60	120	178	244	422	42.2	57.8	100.0	64	64	128
令和5年度	60	60	120	187	226	413	45.3	54.7	100.0	62	62	124

■伊勢崎市教育委員会（四ツ葉学園中等教育学校／平成21年度開校）

	募集定員			志願者数			志願者の男女比 (%)			合格者数		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
平成31年度	60	60	120	100	137	237	42.2	57.8	100.0	男女別の人数は非公表（合格者数が例年128名なのは、学級編成の都合及び辞退等を見込んでいるため）		128
令和2年度	60	60	120	120	148	268	44.8	55.2	100.0			128
令和3年度	60	60	120	90	138	228	39.5	60.5	100.0			128
令和4年度	60	60	120	112	129	241	46.5	53.5	100.0			128
令和5年度	60	60	120	128	160	288	44.4	55.6	100.0			128

2. 男女別定員を設けないと仮定した場合の男女合格者数

※3団体（茨城県、群馬県、伊勢崎市の各教育委員会）とも、男女枠を設けない場合を想定した男女の合格者数のデータはないため回答不可

3. 男女別定員数を設けている理由

■茨城県教育委員会

義務教育段階の中学校及び中等教育学校の前期課程においては、男女が互いに尊重し協力し合うことを学ぶうえでも、生徒の構成は男女のバランスがとれたものであることが望ましいと考えるため。

■群馬県教育委員会

男女の発達段階の差などを考慮しているため。

■伊勢崎市教育委員会

理由は非公表のため回答不可

4. 現在の男女別定員制に関する今後の意向

「男女別定員制を維持していきたい」「男女別定員制を緩和していきたい」「男女別定員制を撤廃していきたい」「その他（ ）」から1つ選択

■茨城県教育委員会

その他（今後、様々な課題を整理しつつ、他県の状況等を注視していく。）

理由

ジェンダー平等の観点に立つことが社会的な変遷の中で意義があるという考え方がある一方で、学習活動や行事の実施の面で、ある程度、男女の比率を設定することも必要という意見もあるため。

■群馬県教育委員会

男女別定員制を維持していきたい

理由

男女の発達段階の差などを考慮しているため。

■伊勢崎市教育委員会

今後の意向は非公表のため回答不可